

社会福祉法人海光会 運営における安全対策体制

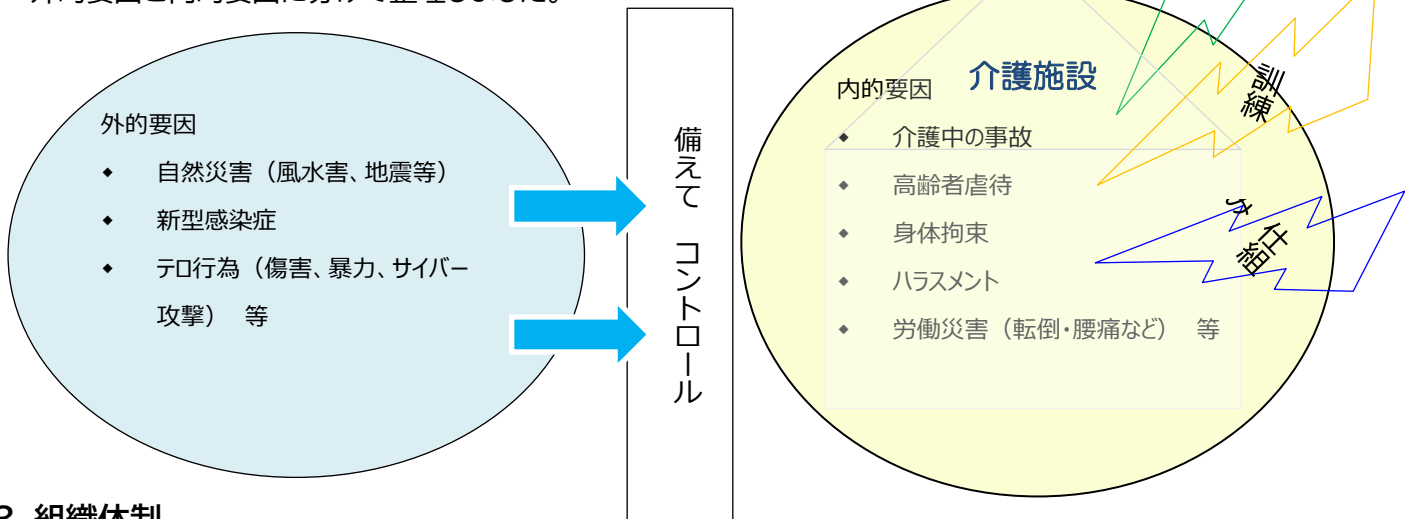
1. はじめに

近年、社会福祉施設を取り巻く環境は都市部や地方に関係なく大きく変化しています。具体的には酷暑による風水害、寒さによる豪雪、地震、新型コロナウイルスそして人による傷害暴力、サイバー攻撃等々の発生が身近になっているのです。このような脅威の発生頻度、事業への影響度あいを当該施設独自の予測対策をたて、不測であっても機転を利かせた判断で安全を守る組織づくりを進めています。

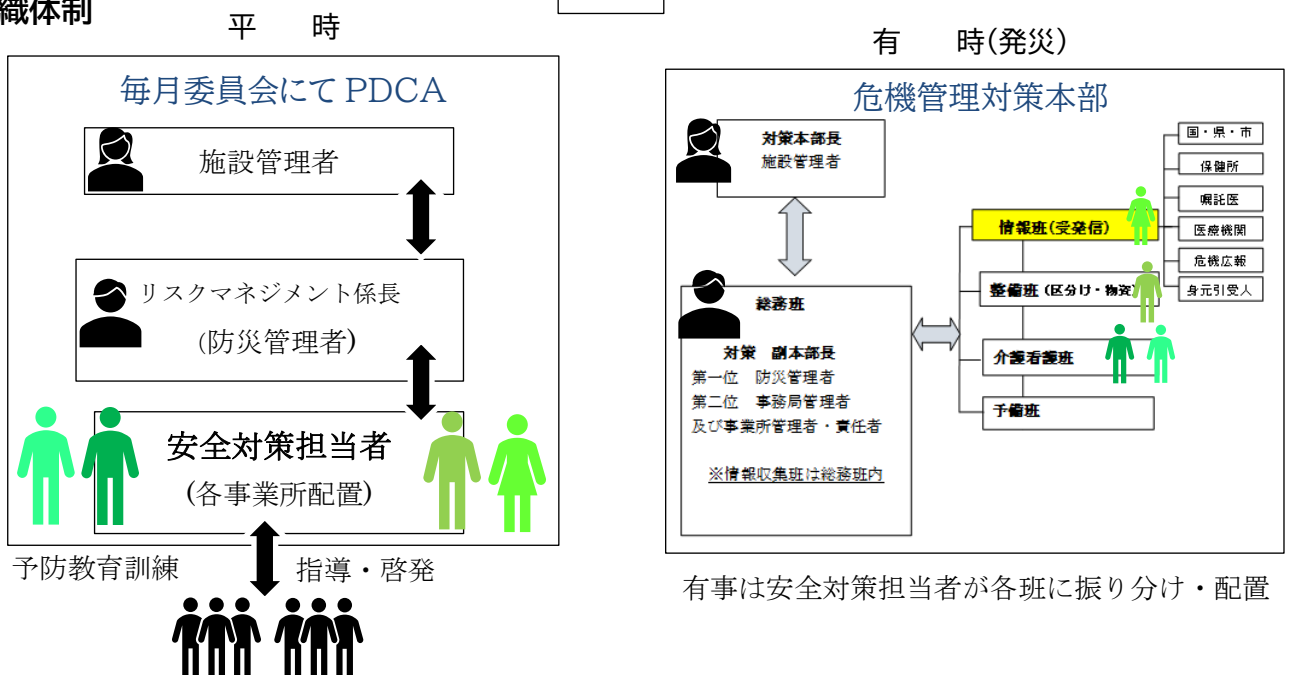
当法人は 2016 年レジリエンス認証を取得したこともあり、リスクマネジメントへのノウハウを蓄積してきました。しかしながら、現実として発災したときに持ちこたえられるのか…明確な答えは見つかりません。しかし一つ言えることは『後悔しない備え』を進めるということです。平時から危機への備えを組織全体で進め自助力を高めてまいります。

2. 安全を脅かすもの

外的要因と内的要因に分けて整理しました。



3. 組織体制



※ 安全対策者とは

2021年4月 介護保険法改正によりリスクマネジメントの強化が盛り込まれます。

外部研修を受けた安全対策を行う担当者をさし、日ごろから組織的に安全対策を実施する体制内に組み込み、2021年2月1日から先行配置しています。

事業所	担当者 ※委員会出席者に準ずる
特別養護老人ホーム	介護職(主任職、サービス提供責任者)
短期入所生活介護事業所	看護職 機能訓練指導員 生活相談員 介護支援専門員 管理栄養士
軽費老人ホーム	生活相談員
通所介護事業所	事業所管理者
訪問介護事業所	事業所管理者
事務局	総務担当

4. リスクマネジメントに関する委員会一覧表 開催：毎月1回

会議・委員会名	目的と目標
防災等対策委員会 <ul style="list-style-type: none"> ◆ 自然災害 ◆ 傷害暴力（テロ行為） ◆ 情報セキュリティ 	事業継続計画の下、防災管理者が筆頭となり地震、津波、火災、風水害等の天災、傷害暴力等のテロ行為、そして情報セキュリティの脅威について最新情報や防御策を全体共有しながら足りない点（知識・物品）があれば速やかに補てんする。それと同時に、時流に合わせた事業継続計画の更新を担う。
サービス事故対策委員会 <ul style="list-style-type: none"> ◆ 身体拘束防止 ◆ 高齢者虐待防止 ◆ ハラスメント 含む 	全事業所が参集し前月に発生したひやりはっと・事故の検証・対策・進捗を再確認しながら再発させない意思決定を行う。それと同時に身体拘束、高齢者虐待、ハラスメントにあたる言動に抵触することがないか予防牽制を含めた指導する。
栄養ケア委員会	施設サービスメンバーのみの委員会。介護職の一部医療行為（経管栄養、吸引）を中心に、安全管理に問題が無いが毎月確認・検証を行う。問題があれば速やかに対策をカンファレンスにて決定し再実行する。
感染症対策委員会	特に11月～3月までインフルエンザ、ノロウイルスのリスクが高まる中、新型感染症疥癬等、通年怠る事が許されない。厚労省や熱海圏域の最新情報を参考にしながら、施設内感染を防止する。
安全運転委員会	安全運転管理者を中心に警察署から出される熱海市内の事故事例などを踏まえながら、車両整備・運転時の注意啓発を行う。
衛生委員会	従業上での快適な職場環境保持するため、メンタルヘルスを含めた労働環境・状況の確認、情報伝達、知識の向上をねらいとする。また、管理職は国家資格の衛生管理者第二種以上取得を必須としより一層の環境保全を啓発・整備する。